

## 「情報と沖縄の食セミナー」

ITはビジネスモデルを劇的に変える  
(セミナー&シンポジウム)

【開催日程】2010年8月19日(木) 9:30開演 17:00終了(9:00開場)

【開催会場】那覇第2地方合同庁舎1号館大会議室

【主催】日本トレーサビリティ協会 / 沖縄県情報産業協会

【後援】内閣府沖縄総合事務局 沖縄県  
食品表示検定協会、  
社団法人 日本農林規格協会 (JAS 協会)  
独立行政法人農林水産消費安全技術センター (FAMIC) (予定)

【協力】エフエム沖縄、沖縄テクノス株式会社

【聴講対象者】食産業関係者、情報関連事業者、流通事業者、消費者

【参加料】無料

### 【開催プログラム】

第一部 セミナーの部 09:30~12:45

- 基調講演 **食品安全を取り巻く最新状況と今後の変化** 09:30~10:30  
内 容 : 大手小売チェーンの品質管理責任者としての経験を踏まえ、現在、食の品質管理の実務者として様々な研究を行っている中から、食品に関する最新の安全性の確保策について、その基本的なアプローチからマネジメントに至るまでをわかりやすく説明します。  
講 師 : 株式会社消費経済研究所 鈴木ちはる氏
- 事例紹介 **「食の安心」確保のための県内企業のIT取り組み** 10:30~11:15  
内 容 : 豚肉は単価が低く、1頭あたりの重量も少ないためにコストがかかり固体識別番号の導入は殆ど行われていませんでしたが、当社では、徹底した安全管理を目指し、農場、餌、飼育方法、生産者などの生産過程の情報や、流通の流れを追跡できる「トレーサビリティシステム」を採用。農場から食卓まで責任を持って安心・安全・高品質をお届けすることで「食の安心」に対する消費者からの信頼確保に努め実績をあげています。  
講 師 : 株式会社がんじゅう代表取締役 桃原清一郎氏
- 学 習 **実務セミナー(食品表示からのアプローチ)** 11:15~12:45  
内 容 : とりわけ関心の高い食品表示を中心に、食品に関する安全性や法制度について学ぶ実務セミナー。「困った食品表示の実例」を紹介したうえで、表示ミスから見た管理上の発見、点検手順の基礎について学習します。講師が例題を解説した後、簡単な演習を行います。  
講 師 : 日本食品表示検定協会 吉村唯善氏

休憩 12:45 ~ 13:45

第二部 シンポジウムの部 13:45 ~ 17:00

最新技術解説 **食品開発支援のための IT システム** 13:45 ~ 14:30

内 容 : 日本トレーサビリティ協会が開発した最新システムのデモンストレーションを実施します。多岐にわたって複雑な食品関連法規や基準の理解を助け、商品開発時の実務支援ツールとして期待されます。

講 師 : 日本トレーサビリティ協会 技術顧問 大松重尚氏

技術動向 **トレーサビリティから見た食産業関連システム** 14:30 ~ 15:30

内 容 : 国内での画期的技術における開発支援の実績と知見から、沖縄の食産業における将来発展可能な地域モデルとのために、トレーサビリティをキーワードとしたテーマを語ります。

講 師 : システム・インテグレーション株式会社 多喜義彦氏

討 論 **食品業界を揺るがす問題への処方箋を考える** 15:30 ~ 16:30

- 「美味しいだけで大丈夫？食の品質保証に潜む危うさ」 -

内 容 : 「美味しいだけで大丈夫？食の品質保証に潜む危うさ」をテーマに、工場から店頭までに潜む食の品質保証の危うさを考えます。また、どうすればその危うさを克服し、消費者が安心できる商品を提供できるかについて議論します。聴講予定者の方に予め実施した事前アンケート（食品の品質管理や品質保証に関する質問・疑問）にパネリストが回答する Q&A も実施。聴講者の方々の意見も交えながら、沖縄での食の安全性の構築方法について考え、提言の場とします。

パネリスト： 県内企業 数社  
株式会社消費経済研究所 鈴木ちはる氏  
日本トレーサビリティ協会 大松 重尚氏  
食品表示検定協会 吉村 唯善氏

コーディネーター：  
システム・インテグレーション株式会社 多喜義彦氏

総括 **食品を取り巻く今後と沖縄への提案～沖縄発、全国への提言～** 16:30 ~ 17:00

内 容 : 中国餃子事件から2年。アジア地域での食品安全性に関する研究から様々な事象を捉え、沖縄という地域から見据えた、食品に関する情報と運用の大切さを語ります。

講 師 : 東京海洋大学大学院 食品流通安全管理専攻  
教授 日佐和夫氏